



MBT NEWS LETTER

第272号
'24/03/18




<MBTコンソーシアム会員の皆様へ>

奈良医大の医学知識を活用して新製品開発に取り組みませんか！

- ・MBTは、医学的知見を工学やまちづくりに活用する活動です。医師が有する膨大な知識を、医学的に正しい製品や住居、そしてまちづくりに関わるすべてのものに生かすべく、医学に基づいた社会貢献を目指しています。
- ・奈良医大の保有するシーズは下記URLやQRコードから参照できます。
[知的財産・研究シーズ | 奈良県立医科大学 \(naramed-u.ac.jp\)](http://naramed-u.ac.jp)
- ・会員企業様の医学相談には下記の仕組みで対応します。事務局までお声掛けください。
- ・また、逆に奈良医大ニーズを会員企業様に公開して共同開発テーマがスタートのケースもあります。



医学活用相談および奈良医大ニーズ公開から新製品開発に至った事例

新製品開発ケース	事例内容	新製品に至った経緯
ケース1 奈良医大シーズの製品開発・商品化	睡眠頭位調節マットレス ・特に高齢者女性で頻繁にめまいを発症する患者様向けのめまい発症予防マットレス 	・奈良医大耳鼻咽喉科・頭頸部外科の北原紘教授の論文が世界的権威の国際医学誌に掲載をきっかけに企業が注目 ・奈良医大の呼びかけに、会員企業の昭和西川株様が参加し開発・商品化
ケース2 会員企業シーズを奈良医大と共同開発商品化	手指機能強化手袋 ・フレイルやパーキンソン病などで握力やピンチ力が衰えを感じるヒト向けのリハビリ用手袋 	・会員企業の株三笠様が、特殊編み技術で指部が反り返った手袋の活用を奈良医大に提案 ・奈良医大のリハビリテーション科がパーキンソン病患者に装着で試した結果、手指機能の回復が期待できたことから共同で開発・商品化
ケース3 奈良医大ニーズを会員企業に公開し、参加の申し出のあった会員企業と共同開発・商品化	MEP用弾性ストッキング ・手術中に下肢を圧迫して静脈瘤の進行を防ぎかつ運動神経を電極でモニターするストッキングで、従来品の電極位置ずれ、作業性の悪さの課題を解決したストッキング 	・奈良医大の麻酔科学の川口昌彦教授から手術準備時の作業性、課題が提案され、改善した商品開発をMBTに依頼 ・MBT事務局は会員企業にニーズや市場性情報を公開し参加企業を募った ・会員企業のモード・ユニット工房株が開発参加を表明、共同開発がスタートし製品化にこぎつけた

発行

(一般社団法人) MBTコンソーシアム、(公立大学法人) 奈良県立医科大学
 奈良県橿原市四条町840番地研究推進課内 担当 塩山
 TEL : 0744-29-8853 (直通)、FAX : 050-3164-5598、Email: mbt@mbt.or.jp